



2016.5.8 マリア祭で飾られたルルド

## 聖母の月

主任司祭 B・ノヴァク

多くの人は、5月が一年の中で最も美しい時期と考えているようです。確かに5月は、新鮮な緑や綺麗な咲いている多くの花によって、創造主である神の作品であり、私たちがための賜物である自然の美しさを特に力強く実感できると同時に、創造主であり、命の源である神の偉大さとすばらしさを実感できる月なのです。私たちはこの月を聖母マリアにささげ、この月に特に注意深くマリアを仰ぎみるのは、マリアこそがこの自然よりも完全に神のすばらしさを表してくださるからです。

というのは、マリアは、誰よりもイエスを強く愛し、お母さんとして、また弟子としてイエスに忠実に仕え、心を完全に開いて、イエスのご自分の救いのわざによって与えてくださったすべての恵みを受けたと同時に、自分のすべてを父である神に奉獻しました。そのために、マリアは、誰よりも豊かで、美しい人生を送った人になったのみならず、この地上に生きている間に、三位一体の神と完全な愛の交わりの中に、つまり、神と一致して生きるようになったのです。したがって、今マリアは、私たちに神の心に適う人生のすばらしさを示してください。と同時に、どんな被造物よりも完全に神ご自身のすばらしさを表してください。

私たちは、マリアに倣って神の言葉を信じ、マリアと共にイエスに従って歩むことによつて、マリアと同じように豊かな人生を送りながら、神の愛とすべての人々のための愛の交わりへの神ご自身の招きを、できるだけ多くの人々に伝えることができますように祈りたいと思います。

### 平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時  
第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(マリア館)  
火曜日 午後7時  
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時

### 主日のミサ時刻：

土曜日 午後5時 (ミサ後、聖体礼拝)  
日曜日 午前8時・9時30分・午後6時  
Sunday Mass in English 9:30 am  
(in the Marian Hall)  
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後3時30分

# 侍者集会の報告

典礼委員長 新内飛鳥

4月24日(日)に開催されました。計画通り2016年に入ってから隔月に集まるようにしていますが、今回は「香炉の使い方学ぶ」という内容で集まりました。初聖体を済ませて侍者団には在籍しているもののデヴューを果たしていない子から高校生のメンバーまで幅広い層の参加を得ました。総勢12名と、図らずも主に従った使徒と同じ人数です。9時半のミサ後、香部屋に集合して開催しました。初めに実物の香炉と舟(香入れ)を見て手に取り、その構造を学びました。そして香炉と舟の出番についての解説が済むと実際に香炉を振りました。特に荘厳な典礼の時に使う道具ですから香部屋で目にはしているものの触ることがありませんから機会としては実に貴重です。普段使わない道具と言うことは経験を積む機会が乏しいということですね。にも関わらず役目は突然にやってきました。「今日は君が香炉ね」と新内さんに指名されてしまうからです。そんな時にも「げ！」と慌てず「出来ませよ」と引き受けられるように準備がしたいということも今回の狙いの一つです。小さい子たちはし

り込みするかもしれないと思っていましたが、みんな興味津々で「きやつきゃ」言いながらチャレンジしていました。大きい子たちはベテランの風格よろしく「さすが」と唸らせる技術を見せつけてくれました。一通りの技術指導を終えたのち「侍者の手引き最新版」と「香炉と舟 編」を受け取り、侍者団のための祈りを奉げました。今回参加できなかった侍者にも手引きを渡しますから新内にも声をかけてください。侍者団のための祈りを紹介しま

り込みするかもしれないと思っていましたが、みんな興味津々で「きやつきゃ」言いながらチャレンジしていました。大きい子たちはベテランの風格よろしく「さすが」と唸らせる技術を見せつけてくれました。一通りの技術指導を終えたのち「侍者の手引き最新版」と「香炉と舟 編」を受け取り、侍者団のための祈りを奉げました。今回参加できなかった侍者にも手引きを渡しますから新内にも声をかけてください。侍者団のための祈りを紹介しま

## 南山教会侍者団のための祈り

先 唱：主イエス・キリスト、あなたは私たちをここにお集めになりました。

一 同：あなたは私たちにミサで奉仕する恵みを与えてくださいました。私たちが捧げる奉仕を通じて私たちの心と信仰を養ってください。私たち侍者団の一人一人が互いをいつくしみ支えあい、兄弟として成長してゆくことができるよう祝福してください。

先 唱：栄光は父と子と聖霊に

一 同：初めのように今もいつも世々に、アーメン



2016.4.24 ヨセフ会全体集会

2015年度決算報告書(2015.4.1～2016.3.31)

一般会計

〔収入の部〕

科目	決算	予算
維持献金	17,747,728	18,000,000
ミサ献金	7,079,905	7,500,000
祭儀献金	3,330,000	5,000,000
永代祈祷料	11,860,000	2,500,000
その他献金収入	5,725,122	4,500,000
献金小計	45,742,755	37,500,000
特別献金収入	1,360,082	1,000,000
受取利息	7,229	10,000
雑収入	48,920	20,000
収入合計	47,158,986	38,530,000

単位:円

〔支出の部 続き〕

単位:円

科目	決算	予算
建物修理	1,639,994	3,000,000
オルガン修理	284,520	300,000
保守管理費	2,066,608	2,100,000
環境整備	0	100,000
その他	0	720,000
修繕費小計	3,991,122	6,220,000
車両維持費	510,384	500,000
印刷費	814,363	1,000,000
事務用消耗品費	366,854	250,000
旅費交通費	140,000	400,000
通信費	1,188,415	1,600,000
消耗品費	603,766	700,000
水道光熱費	4,590,798	5,000,000
支払保険料	314,692	200,000
雑費	25,035	50,000
給料	5,172,000	5,500,000
雑給料	618,329	650,000
退職金	0	0
法定福利費	828,202	1,000,000
人件費小計	6,618,531	7,150,000
自己教会への支出	0	0
支出合計	32,045,636	36,480,000

〔支出の部〕

科目	決算	予算
典札書購入	566,751	350,000
聖具補充	27,768	150,000
花・ローソク・ホシテ	454,536	500,000
儀典費小計	1,049,055	1,000,000
復活祭	189,627	180,000
堅信式	56,865	60,000
敬老の日	153,119	150,000
クリスマス	38,843	50,000
成人式	20,377	20,000
諸行事	232,399	100,000
集會費小計	691,230	560,000
宣教司牧費	463,866	700,000
墓地費	0	0
黙想会費	0	30,000
教区分担金	2,418,000	2,500,000
宣司評分担金	241,800	250,000
神学院助成金	500,000	500,000
その他寄付金	1,331,970	1,200,000
寄付金小計	1,831,970	1,700,000
運営委員会	0	20,000
典札委員会	20,224	80,000
広報委員会	-11,556	450,000
典札奉仕者の会	157,442	120,000
大樹の会	5,010	30,000
ヨセフ会	51,050	70,000
マリア会	68,667	100,000
青年会	0	50,000
中・高生会	140,177	300,000
中・高生父母の会	50,000	50,000
教会学校	571,514	600,000
教会学校保護者会	0	0
子ども部員	48,977	50,000
レジオマリエ	0	0
ボーイスカウト	230,000	230,000
信徒協	5,000	10,000
南山手話の会	33,744	50,000
要約筆記者の会	19,326	20,000
英語ミサ	76,098	30,000
納骨堂委員会	0	50,000
諸活動費小計	1,465,673	2,310,000
司祭活動補助費	3,360,000	3,360,000
特別献金支出	1,360,082	1,000,000

消費収支差額	15,113,350	2,050,000
--------	------------	-----------

平成28年5月8日

以上の通り、ご報告致します。  
財務委員長 伊藤恭輔

監査の結果、公正かつ適正に  
処理されていることを認めます。  
監事 公認会計士 坂浦正輝

## 主の祈り (2)

主任司祭 B・ノヴァク神父

### 2 「御名が崇められますように。」

聖書の世界において、「名」とは、「その人の本質、その人自身、その人の生き方を表します」(カトリック教会のカテキズム203)。ですから、「み名」を崇めるとは、神ご自身を崇めることなのです。「神を崇める」ことは、理解しやすい表現であるかも知れませんが、新共同訳の「御名が崇められますように」という表現よりも、祈りのための翻訳が用いる「み名が聖とされますように」という表現の方が、新約聖書の中で使われているギリシャ語の言葉に近いです。

けれども、元々聖そのものである神が聖とされるように願うと求めるとは、どういうことなのかという疑問が生じるかも知れません。それは、実際に聖なる存在である神を、聖なる存在と

して認めて、敬い、礼拝することなのです。

ですから、「み名が聖とされますように」と祈る私たちは、すべての人々が神ご自身の名を、つまり神の本質を、神がどんな方であるかを、特に神こそが慈しみ深い父であり、すべての人々を愛しておられる方で、愛そのものであるということを知るようになって、神を神として認め、神との正しい関係に入るようになることを願う求めるということなのです。

実は、「永遠の命とは、唯一のまことの神であられる」父と「イエス・キリストを知ることです」(ヨハ17・3)から、「み名が聖とされますように」という祈りは、すべての人々の救いのための祈りなのです。

### 3 「御国が来ますように。御心が行われますように、天におけるように地にの上にも。」

イエス・キリストが、公の活動を始められたときに、「天の



国は近づいた」と宣言して「悔い改めよ」と呼びかけました(マタ4・17)。その時以来、

イエスは特にたとえを以て神の国はどのようなものであるかを説明しました。実は、神の国が近づいたというメッセージは、イエスが語られた福音の中心、または、福音そのものであるということさえ言えると思います。

イエス・キリストが語られた神の国とは、神との愛の交わり

わりの完成の結果として神と一体になることです。この意味の神の国は、創造のわざの最終的な目的、人生の目的、つまり、私たち一人ひとりが生まれた最終的な目的なのです。罪を犯して、神から離れてしまった人間にとって、この目的に達することが不可能になっていました。神の御独り子の受肉をはじめ、イエス・キリストの十字架上の死と復活、また、昇天によって神との愛の交わりが再び可能になったのです。これこそ、救いの計画の実現です。で、イエス・キリストはご自分の到来と共に、神の国が近づいたと宣言することができたわけ

です。神の国の到来を宣べ伝えたのみならず、神の国を実現してくださったイエスは、「わたしに向かつて、『主よ、主よ』と言う者が皆、天の国に入るわけはない。わたしの天の父の御心を行う者だけが入るのである。」(マタ7・21)ということをも教えてくださいました。考えてみれば、イエス・キリス

トがすべての人々に神の国に入  
る可能性を与えることができ  
ても、だれ一人も、強制的に神の  
国に入れることができません。

なぜなら、「神の国に入る」と  
いうことは、どこかの国に入国  
するようなこととか、どこかの  
家や部屋に入るようなことでは  
ないからです。「神の国に入  
る」とは、神との愛の交わりに  
入ること、しかも、この交わり  
の完成である一致に達すること  
です。神の愛とともに神の

#### 4 「わたしたちに必要な糧を今 日与えてください。」

神の国の実現と、すべての  
人々が神の意志に合わせて生き  
ることを願うことは、私たちの  
神との愛の交わりが完成される  
ことを願うことなのです。

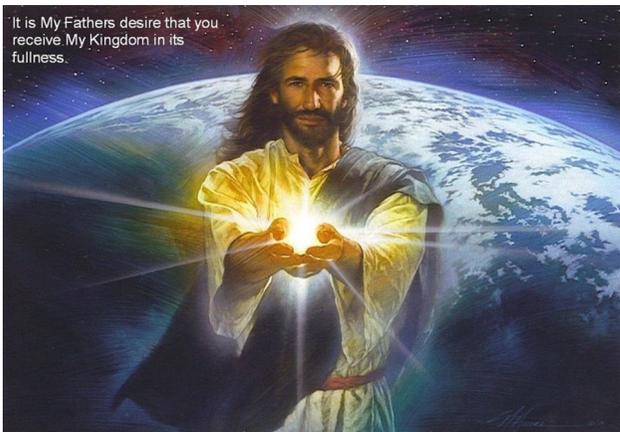
招きを受け入れること、つま  
り、自由意志に基づく人間の自  
己奉獻が必要です。人間は、神  
の意志に従って生きることに  
よって、つまり、自分の意志を  
神の意志に合わせることによつ  
て神に自己奉獻し、神との交わ  
りを深め、完全な一致に近づく  
わけです。ですから、「天の父  
の御心を行う」ことは、神の国  
に入る条件ではなく、神の国へ  
の道なのです。神との完全な交  
わりを目指して、イエスの導き  
に従い、神と心一つにしてお  
られたイエスに倣って生きるこ

神は、イスラエルの民をエジ  
プトから導き出されて、荒野野  
でマンナ（マナ）と呼ばれるよ  
うになった食物を与えてくださ  
りました。神は、必要以上にこ  
の食物を与えてくださいました  
が、一日に必要な分を集めるこ  
とだけがイスラエル人に許され  
ました（出16・14、16）。おそ

命は、神に頼っていることを示  
されたと同時に、彼らにご自分  
に対する信頼を教えてください  
と思います。  
イエス・キリストが私たちに

祈りの中で、一年間分とか、一  
週間分の食物ではなく、今日の  
ために必要な糧だけを願い求  
めるように教えてくださいました  
のです。

は、砂漠にいて、何も持ってい  
なかつたイスラエル人の命と同  
じように、必要以上にたくさん  
の食物を持っている私たちの命  
も、神に頼っていることを意識  
させるため、また、この意識を  
保つためなのです。考えて見れ  
ば、食物は命を養い、命を保つ  
ものであつて、命を与えるもの  
ではありません。自然に考えれ  
ば、私たちは、両親から命を与  
えられました。厳密に言えば、  
両親が私たちに命を与えた  
ということではなく、自分たち  
がいただいた命を私たちに伝え  
ただけなのです。最終的に、創  
造主である神が命の源であり、  
命の主なのです。人間がそれを  
意識しなくても、その命は、人  
間の所有物ではなく、神の賜  
物なのです。言い換えれば、生  
きることは、神の命にあずかるこ  
とです。実際に、創造主であ



5月8日

司祭団より

・教会美化の剪定を行っていた。今週と、来週でお手すきの時間に皆様の助けがあると非常にありがたい。のびている枝などがあれば、カットして頂きたい。道具は、事務所横の倉庫にあります。よろしくお願いします。

報告・連絡事項

4月3日(神の慈しみの日)、信徒協献金の額は?

・124,187円が集まりました。教区事務所へ送付済みです。

4月17日信徒使徒職協議会総会

・櫻井さんと森さんが出席。布池のコンコルディアホールで開催され、84名の参加者がありました。

・ネパール大地震の募金を実施したことなどが報告されました。

4月17日、福音館「春祭り」

・マリア会からいなり寿司を提供し、収益は約60万円でした。収益は福音館の炊き出しに使用されます。

・食事、着るものなどが販売され、とても楽しい時間でした。

4月23、24日…オルガニストと先唱者の集い

・ミサの中で所作の確認とアレルヤ唱において先唱者並びに朗読者が動き出すタイミングを変更する事を主任司祭より伝達がなされた。そして、先唱のポイントをオルガニストの大森様が分かりやすく説明くださいました。また、当番に関しての話し合いも行いました。

4月24日、ヨセフ会全体集会

・例年通りの活動内容が、了承されました。

・5月15日…ストーブ片づけ

・5月22日…教会美化&BBQ

Q. ヨセフ会の班別で、清掃エリアが決まっているので、そのほかの方々は手の足りない場所を助けてください。

4月29日宣教司牧評議会

・司教様より、社会福音化推進委員会設置の要望がありました。

・各会は、毎年3月末までにその年度の活動報告書、課題や感想を作成し、事務所に提出することで決まりました。できるだけ電子メールで送ってください。

これらをまとめて信徒全体集会の資料として用いることなどによって、他の信徒に皆さんの活動を知

らせることができます。

・2015年度分は、今年の信徒全体集会用として、5月中に事務所へ提出してください。フォーマットは特に決まっていません。

・審議事項「これからの名古屋教区に向けて」：当日、突然の口頭による審議案件が飛び出し、総会に紛糾しました。

・結論として、現宣司評規約の廃棄、この1年で新しい規約作りを行い、現在の総会の議事承認機能を宣教司牧評議会(常任委員会)に移します。今後の決定事項は、前記評議会で行い、来年の教区大会(現総会)にて、信徒の皆さんに経過を報告します。

5月12日、マリア館空調設備の搬入とその工事

・4月28日に電気工事の現地調査があった。最終日程表は、5月6日(金)に受領予定。5月12、13日、ガス配管撤去作業、16日(月)から約10日間工事に入ります。作業は9時〜17時。停電があるかも知れません。工事中のマリア館の使用は、かなり制限される。詳細は、日程表を聖堂に掲示する。工事関係の駐車場は、ヨセフ館正面の5台分の予定です。

5月29日わだちまつりへの参加

・毎年、南山教会はいなり寿司250パックを提供します。

・今回は、マリア会だけでなく、ヨセフ会も食券販売をします。

WYD参加について

・南山教会からの参加者に35万円の補助を出すことで決まりました。

2015年度決算報告について

・収入…約4,700万円  
・支出…約3,200万円  
・消費収支差額…約1,500万円の黒字でした。

審議・相談事項

電力契約について

・南山教会の電力契約はいくつかに分かれており、それぞれの建物ごとに契約を行っています。

・前回の運営委員会で、東邦ガスに電力契約を変更すると決議したが、マリア館の空調設備の工事に伴い、新規契約については、いろいろな問題が今後発生するかもしれないということが分かってきました。

・新規に、東邦ガスと契約するより、このままの状態と1年ほど様子を見てから契約をした方が周囲の状況が分かると判断し、新規の契約は現状のままです。状況変化に伴う相談。

↓相談の結果、現状維持の中部電力で続けることになりました。

## 5月22日、教会美化とBBQ

・いつもの草取りと外周の掃除に加え、①内陣の片づけ、マリヤ像、ヨセフ像のほり取り、②業者のトイレ掃除、③木の伐採等について相談しました結果、今回の教会美化で取り込むことになりました。①の内陣関連については、典礼委員会にて担当することになりました。②については、事務所から業者へ注意をお願いする。③については、司祭団からの要請に応える。

## 営繕委員の募集

・教会の建物は、老朽化が進んでおり、あちらこちらで設備が悲鳴を上げている。

・今後の大規模補修のことも考え、調査等に協力が必要ですが、少しでも多くの方に協力を頂ければ幸いです。

・ご協力いただける方は、営繕委員会の伊藤さんか、事務所へご連絡ください。

## 運営委員会規約改訂について

・前回の運営委員会に引き続き、規約案に改訂部分を併記した。  
・別途資料を参照しながら話が進められ、一部内容が変更されることと決定しました。

・別件として、運営委員会規約に掲載されている各種団体の再確認も同時に行い、あわせて、6月の

信徒全体集会の準備とする。

## 5月15日14時～インターナショナルミサの開催

・ごミサの前の準備のため、その後の情報と協力内容の再確認。添付資料を確認しながら話が進められ、各担当が決まりました。

## 各会報告

・**営繕委員会**…カトリック会館1階の女子トイレが1つ故障しました。工事に20万円程かかるため、今回は修理しないことになりました。女子トイレが少なくなってしまうので、男女の割当て変更を次回の運営委員会で図ります。

・**ボーイスカウト**…スカウトバザー開催↓6月12日(日)10時～13時30分

※バザー用品の御寄附とチケット購入のご協力をお願いいたします。

・**典礼委員会**…4月23、24日↓オルガニストと先唱者の集い。

・24日(日)↓侍者集会。12名参加。香炉の練習をしました。

・30日(土)名古屋教区典礼委員会。新内さんが出席。

・5月8日(日)マリア祭

・15日(日)14時～インターナショナルミサ、侍者の指導の奉

仕。典礼委員会定例会議

マリア会…5月6日

(金)初金ミサの後、マリア会例会が行われました。今年2月、信徒教女性部研修会で行われた、松浦司教講演「分かち合

いの恵みを求めて」の講演要旨を皆で読みあい、6月のマリア会後に有志で「聖書と典礼」を用いて分かち合いを実施する予定です。

・熊本の地震を受けて、今後の例会内での募金は東北と熊本両方に分けて送ります。

・**教会学校**  
・5月8日マリア祭で女子が天使の奉仕

・6月5日潮干狩りの予定

## レジオマリエ

毎週一回の集会で、お祈りと奉仕、聖書の分かち合い等を行っている。

・6月18日 松浦司教様のご指導による名古屋クリア黙想会の予定

次回は6月5日

## カトリック教会のカテキズムより

2566 神を捜し求める人間。創造によって、神は無から万物に存在を与えられました。栄光と威光の冠をいただいた人間は、天使について、主のみ名がいかに力強く全地に満ちているかを認識する力を備えています。罪を犯して神に似た者ではなくなった後でさえ、創造主の似姿はとどめています。自分に存在を与えてくれた神へのあこがれを失ってはいません。すべての宗教は、人間にはこの本質的な探究心があることを教えています。

2567 神が先に人間を呼んでおられる。人間が創造主を忘れ、神の前から姿を隠し、偶像に走り、見捨てられたとあって神をなじろうとも、生きておられる真の神は一人ひとりの人間を祈りによる神秘的な出会いへと飽くことなく招いておられます。祈りはまず忠実な神の愛の呼びかけで始まるものであり、人間が行うことはそれへの応答にすぎません。神がご自分を啓示し、人間自身の真の姿を明らかにされるにつれて、祈りはいわば相互の呼び合い、契約のドラマとなっていきます。そしてこのドラマが、ことばと行為とを介して心を支配するものとなります。そのことは救いの全歴史を通して明らかにされています。

# 南山句会

平成二十八年四月十三日



水汲みに出でて桜の吹雪かな

真喜子

満開の桜水面に影おとす

とく子

天正を偲び供茶点つ利休の忌

公子

登り来て気付けば弥生傘寿かな

美智子

教会へ落花しきりの上り坂

一藤

背負ふ子の足ゆらゆらと春の野辺

豊子

桜湯や年重ねてもなほ愛し

光子

鶯や修女の便り手に持てば

せつこ

天と地のレクイエム聴く花吹雪

義子

毎月第二水曜日午後一時半

マリア館二階集會室



南山教会のウェブサイトでは、

- なんざん月報
- 毎週のお知らせ
- お祝い写真や動画など、閲覧ができます。どうぞ、ご利用ください。

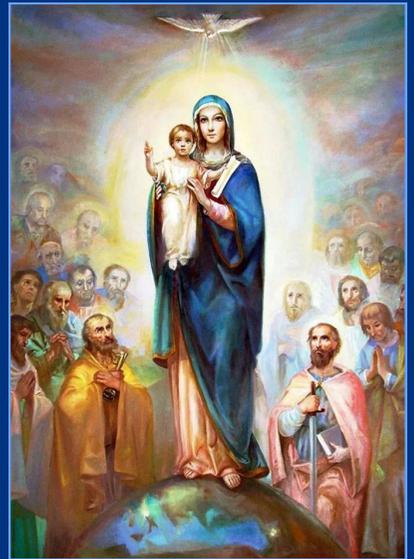
<http://nanzankyokai.net>

## 教会維持費

4月は3,062,500円の維持費が納められました。有難うございました。

教会の維持・運営・宣教活動は、教会信者全員が毎月納める維持費によってまかなわれますので、よろしく願います。

## 天の元后聖マリア



## 2016年5月・6月行事予定表

	教会典礼歴	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
5月	<b>聖母の月</b> 8(日) 主の昇天 15(日) 聖霊降臨の主日 22(日) 三位一体の主日 29(日) キリストの聖体	(決算書の承認)決算書提出 8(日) マリア祭の聖母行列 (9:15)(母の日) 15(日) 天使ミサ日英合同ミサ(9:30) 22(日) 教会美化・BBQ (29日予備)	6(金) マリア会例会(懇談会) 8(日) 11:00運営委員会 15(日) ヨセフ会班長会 15(日) 典礼委員会 21(土) 10:30子ども部屋 28(土) 要約筆記付きミサ	1(日) 世界広報の日・献金日 15(日) 城東ブロック 15(日) インターナショナル・ミサ(南山教会) 19(木) 司祭の月集 29(日) わだち祭り
6月	<b>聖心の月</b> 3(金) イエスのみ心 24(金) 洗者聖ヨハネの誕生 29(水) 聖ペトロ・パウロ使徒	12(日) 典礼奉仕者全体集会 19(日) 信者全体集会 29(水) 楊師霊名の祝日	3(金) マリア会例会(懇談会) 5(日) 11:00 運営委員会 5(日) 教会学校潮干狩り 12(日) 典礼委員会 12(日) スカウトバザー 12(日) ヨセフ会班長会 18(土) 10:30子ども部屋 25(土) 要約筆記付きミサ 26(日) 侍者集会	23(木) 司祭の月集 26(日) 聖ペトロ聖座への献金